

市の資産と負債の状況のポイント

○市民1人当たりの資産と負債 ⇒ 純資産比率は71.1%

資産 約254万円

負債 約74万円

市が持つ資産のうち負債を差し引いた正味の財産の割合を示す純資産比率〔純資産 / 総資産〕です。他市町村の平均値が6~7割ですので、山武市は平均的な比率です。

○施設や道路などの将来世代への負担

今までの世代の負担 85.3%

将来世代負担
14.7%

施設や道路など公共用資産に対する、各世代の負担割合。 純資産 / 公共資産で算出しました。

(平成22年3月末人口:57,730人)

資金収支計算書(キャッシュフロー計算書)

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて、区分して表示することで、市がどのような活動に資金を必要としているのかを表示します。

期首資金残高	48億4千万円
期末資金残高	55億5千万円
当期収支	7億1千万円
1.経常的収支 税金、国庫支出金、人件費など	55億1千万円
2.公共資産整備収支	△42億円
3.投資・財務的収支	△6億1千万円

純資産変動計算書

市の純資産(資産から負債を引いた残り)が平成21年度中にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示します。

期首純資産残高	1,035億7千万円
純経常行政費用	△263億9千万円
その他の減少	△60億円
財源調達 (市税、地方交付税、国県補助金)	329億5千万円
その他	2億円
期末純資産残高	1,043億2千万円

行政コスト計算書

市の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では補足出来なかった減価償却など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	337億5千万円
1.人にかかるコスト 人件費、退職手当引当金繰入など	78億1千万円
2.物にかかるコスト 物件費、減価償却費、維持補修費など	83億4千万円
3.移転支的コスト 他会計への支出、社会保障給付など	176億円
経常収益 使用料・手数料等	73億6千万円
純経常行政コスト (経常費用ー経常収益)	263億9千万円

資産と負債のバランス

資産合計1,468億3千万円(1人あたり約254万円)と負債合計425億円(同約74万円)からわかるように、資産は負債の約3倍(純資産比率71.1%)ありますので、この面では、現在の山武市の財政は健全と言えます。

市民1人当たりの職員人件費

行政コスト計算書の「1人にかかるコスト」を人口で割ることで市民1人当たりの職員人件費が算出できますが、山武市は年間約14万円です。

問 財政課 ☎(80) 1121

ホームページではより詳しい資料を掲載しています。
<http://www.city.sammu.lg.jp/section/soumu/zaisei/index.html>